

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		青少年育成		款	4	項	2	目	1	事業	4	整理番号	240		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	青少年係		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	257				
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業									
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	29	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標		施策	計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年、地域の青少年健全育成団体		内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 杉並区青少年表彰要綱 (2) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○善い行いをした青少年及び主にそれらで構成された団体を表彰して区内全体に善意の行為の気運を盛り上げます。 ○青少年育成委員会などの地域の青少年健全育成の活動を助成し、これらの団体が行う事業活動を通して子どもたちが健やかに育つ環境をつります。		活動指標名(式)		(1) 青少年健全育成団体の総事業数 (2) 青少年表彰被表彰件数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○善い行いをした青少年を表彰する。 ○青少年健全育成団体に対し補助金及び事業共催分担金を支出する。 ○未成年者の飲酒・喫煙防止啓発イベントを実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		青少年育成委員会実施事業参加者数		算定式・指標の説明等		成果指標名(2) (代)区内犯罪・触法少年の検挙・補導件数 算定式・指標の説明等 目標数値を下回るほど成果があがっているため、達成率が低ければ低いほど評価が高い。
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)		1	件	404	400	372	400	352	400	88.0				
	活動指標(2)		2	件	62	130	145	130	143	150	110.0				
	成果指標(1)		3	件	98,159	100,000	96,104	100,000	104,196	100,000	104.2				
	成果指標(2)		4	件	266	200	242	200	230	200	87.0				
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	17,495	18,181	17,916	19,034	18,680	19,593	24年度予算執行率(%)		98.1		
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 成果指標(2)については、目標値を下回るほど成果が上がっている取り組みのため、計画÷実績=達成率としています。				
	(内)委託費		7	千円	295	350	314	781	744	858					
	職員数	常勤職員数		8	人	1.92	1.60	1.96	1.60	1.97					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数		10	人				0.00	0.50	0.50				
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	17,126	14,240	17,444	13,920	17,139	13,920				
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0				
		(内)非常勤職員分		13	千円				0	1,375	1,375				
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	34,621	32,421	35,360	32,954	37,194	34,888					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	85,696	81,053	95,054	82,385	105,665	87,220					
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0							
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0							
都からの補助金等		18	千円	0	0	0		289							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	289	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	34,621	32,421	35,360	32,954	36,905	34,888						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 240

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
			青少年表彰の表彰状及び表彰記念品の授与	2	回	557
			青少年育成委員会活動補助金の支出	17	件	15,300
			すぎなみ舞祭実行委員会、ボーイスカウト等事業共催分担金の支出	4	件	1,615
			未成年者の飲酒・喫煙防止啓発イベントの実施	1	回	431
		その他(事業周知用チラシ作成費、郵送料等)				777
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	青少年表彰は、平成23年度の制度改正により、多くの推薦を得て表彰することができました。平成24年度のすぎなみ舞祭は、区制施行80周年記念事業として位置づけられ、広く区民に周知されたことで区を代表する催しに発展しました。未成年者の飲酒・喫煙防止啓発事業では、同世代の未成年による更なる啓発推進を図るため、青少年パフォーマンスユニットを結成し、自らのパフォーマンスにより、飲酒・喫煙をしないさせないという強いメッセージを発信しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	青少年の学校・地域におけるボランティア活動などが、豊かな人間性、社会性を養うために必要であるとの認識が高まっています。一方で小・中学生の遊びや生活環境が大きく変化しているために、青少年育成委員会の事業等に参加する小・中学生が減少しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域のつながりが希薄化する中、地域の育成団体が実施する事業により、地域の連帯が強められました。一方で、地域における様々な団体が実施している青少年向けの育成事業は、内容や日程等が重複する傾向にあります。
	今後の予測	青少年の自立や社会参加を促進する上で、地域における青少年育成の取り組みに積極的に青少年が関わっていける仕組みを作っていきます。
	評価と課題	地域の青少年育成団体の取り組みは、大人同士、子ども同士の交流が希薄になっている現在において、重要な役割を果たしています。しかし、近い将来地域の中心的人材となる中・高校生が、主体的に事業に取り組む機会が減少しているため、現在の中・高校生の意識を探りながら、その意義を感じ、参加したくなる事業に取り組んでいけるように各育成団体の取り組みを支援するとともに、青少年に対する情報発信に努めて行く必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
	青少年の意識を探り、積極的に参加する取り組みを展開していく中で、情報の伝達が不十分となっている現状を改善するため、青少年へのアンケート実施等による効果的方法の検討を行い、ホームページの充実等Webを活用した情報発信をするなど、各事業の対象者に情報が届く仕組みを構築していきます。青少年表彰については、表彰対象者だけでなく、その他の児童・生徒に、より善行を促すことができるよう、効果的な表彰のあり方を検討・実施していきます。また、地域ごとに実施される事業が、対象となる青少年にとって、豊富なメニューとなるように、育成団体相互で情報を共有していきます。		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 241

24年度 の事業 実施 状況		内 容	規 模	単 位	事業費(千円)	
		(1) 主な取組み	成人祝賀のつどいの実施	1	回	7,482
			ユースプロジェクトすぎなみ委員会の開催	28	回	449
			青少年情報誌「セドル」の製作・発行	6,000	部	2,172
			青少年ボランティア体験「絵本の読み聞かせ講座」の実施	5	日	156
			その他(キッズホームページの一部改修委託料、郵送料等)			
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	青少年の自立や社会参加を促進する取り組みとして、ユースプロジェクトすぎなみの活動を通して、青少年の現状の課題を議論し合い、区政の課題に対する改善策を検討しました。また、青少年情報誌「セドル」の製作活動では、杉並区の文化や人材等の取材活動を通して、広く同世代に情報発信することができました。					

事業環境 の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	長引く景気低迷の影響を受け、非正規労働者が増大しているなど雇用環境が大きく変化してしており、若者は将来に対して大きな不安を抱えています。また、若者の就労年齢が高くなっている現状において、将来の目標を持たずに大学に行くことだけを目標にする若者が多くなっています。			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・ 要望・苦情など)	ユースプロジェクトすぎなみは、設置目的が委嘱された委員に浸透しにくく、活動成果が現れにくくなっています。同世代の若者が特定のテーマについて、じっくりと語り合う機会が減少している中、若者同士が議論し、自らの意見を対外的に表明できる場として、事業の広がり強く求められています。			
	今後の予測	青少年の中でも、中高生は近い将来、地域活動の中心的存在となつての活躍が求められています。そのため、中高生に対する自立応援・社会参画に対する取り組みとして、同世代と語り合い、様々な活動ができる場所づくりを行っていきます。			
評価と課題	将来の地域の担い手となる中高校生のエネルギーは、今後の地域の活性化を図る上で重要な財産ですが、これまで同様の取り組みでは、中高校生の意志や秘めた力を十分に地域に活用できません。そのため、中高校生が、自ら進んで考え・行動を起こせる機会と場を設ける必要があります。				

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他		
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し
	中高校生の自立・社会参加を促進するために、自由に議論でき、自ら行動できる機会を設け、その場が、中高校生にとって魅力ある場となるように、事業の企画段階から中高校生が関わっていける仕組みの構築など、取り組みの充実を図り、実施していきます。また、成人祝賀のつどいについては、会場の規模や開催時間、来場者の安全性を考慮し、新成人のニーズに即した、思い出に残る事業になるよう、開催方法等の改善を検討、実施します。				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		児童青少年センター・児童館事業の運営①						款	4	項	2	目	1	事業	32	整理番号	269
担当部課名		保健福祉部児童青少年課						係名	管理係			連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	285		
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分			既定事業						
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	41	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		5	施策	24	計画事業	3	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象		児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体				内部管理		根拠法令等		(1) 児童福祉法第1～7、35、40条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○センター、児童館事業の充実を図り利用者の健全な育成を助長します。中高生の意見等を反映させたセンター運営を図ります。児童館運営に必要な人材(非常勤職員)を確保し、充実した事業展開が図れるようにします。センター及び児童館職員の資質を向上させます。				活動指標名(式)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○事業運営に必要な事務用品、物品などの購入・支出事務 ○事業運営(学童クラブ含む)のための非常勤職員の採用・報酬の支出事務 ○センター及び児童館職員の研修、物品貸出、事故対応(傷害保険等)				成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
							成果指標名(1)		算定式・指標の説明等		一日あたり平均利用者数 利用者数÷開館日数						
						成果指標名(2)		算定式・指標の説明等		職員実技研修等参加者数							
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画									
指標	活動指標(1)		1	人	1,296,877	1,400,000	1,375,024	1,400,000	1,397,301	1,400,000	99.8						
	活動指標(2)		2	日	13,114	13,917	13,768	13,917	13,804	13,917	99.2						
	成果指標(1)		3	人	99	105	100	105	101	105	96.2						
	成果指標(2)		4	人	727	650	796	800	785	785	98.1						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	274,054	290,197	283,679	289,784	276,910	290,901	24年度予算執行率(%)	95.6					
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○学童クラブに係る委託経費や事務経費等は、「No.271学童クラブ事業」で計上しています。						
	(内)委託費		7	千円	379	398	398	410	401	415							
	職員数	常勤職員数		8	人	28.85	28.85	27.70	27.00	27.35						26.20	
		再任用職員数		9	人	0.40	0.40	0.60	0.60	0.70	0.70						
		非常勤職員数		10	人					0.60	0.60						
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	257,342	256,765	246,530	234,900	237,945	227,940						
		(内)再任用職員分		12	千円	1,180	1,232	1,848	0	2,751	2,751						
		(内)非常勤職員分		13	千円				1,650	1,650	1,650						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	532,576	548,194	532,057	526,334	519,256	523,242							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	411	392	387	376	372	374							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	1	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	1	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	532,576	548,193	532,057	526,334	519,256	523,242								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 269

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
			パートタイマー報酬	120	人	211,128
			臨時職員賃金	916	人	38,035
			運営事務費	43	施設	21,934
			保険料	53	施設	4,895
			その他(消耗品 ほか)			
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)		パートタイマーや臨時職員の安定した確保に努めるとともに、職員の実技研修や階層別研修を実施し、児童館・学童クラブ運営や障害児対応等に係わる職員の資質の向上に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館は昭和40年代から設置され、現在では児童青少年センターを含め計42館設置され、地域の子育て拠点として事業を展開しています。中でも児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として設置され、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。また、学童クラブは計49クラブとなっており、保育需要の増加とともに登録児童数や障害児の受け入れも増加傾向にあります。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小学生の安全な居場所としての機能以外にも、乳幼児から青年期までの子育て支援の場所として、児童館への期待が高まっています。また、学童クラブ利用時間の拡大や障害児の受入等に関する要望・意見が寄せられており、児童館・学童クラブの在り方についての再検討が求められています。
	今後の予測	保育需要の増加に伴う学童クラブの登録児童数の増加や、障害児等の支援が必要な児童の受け入れが増加していくことが予測されます。また、児童の貧困、虐待の増加、安全を脅かす事件の多発、家庭や地域の養育力の低下等、子どもを取り巻く厳しい環境の中で、他機関と連携した個別対応や家庭支援が求められます。
評価と課題		学童クラブの登録児童数増加に伴い、児童数及び特別支援児童の入会状況に応じた適切な人員を配置するとともに、職員研修等を通じて職員の資質の向上を図り、児童館運営・学童クラブ事業の質の維持・向上に努めました。 今後も更なる登録児童数の増加や、障害や複雑な家庭環境にある児童への受け入れに適切に対応していくために、人材の安定的な確保と研修等による人材育成体制の強化を進めながら、更なる運営の効率化も求められます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
	学童クラブ登録児童数の増加に伴い、児童の安心・安全な生活の場を提供するため、登録児童数に応じた適切な人員配置や利用実態に応じた職員のローテーションの工夫など、効率的な運営を図るとともに、課内での応援体制の充実や職員の得意分野や能力を活かしたクラブ事業の実施など、人員の効果的な活用を進めます。また、外部講師による研修や、各施設への巡回相談等による職員の質の維持・向上に努めます。		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		児童クラブ事業			款	4	項	2	目	1	事業	33	整理番号	271	
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	286		
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	39	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象	親が共働きなどで留守家庭となる区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの特別支援児童			内部管理			根拠法令等	(1) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (2) 杉並区児童クラブ事業運営要綱						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○子どもたちがともに育つ中で、自らの可能性を發揮し、健やかに成長するよう支援します。 児童クラブを利用している保護者が安心して楽しく子育てができるよう支援します。			活動指標名(式)		(1) 入会児童数 (2) 入会障害児童数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○共働き等により保護者が留守となる家庭の児童に対して、一人ひとりが尊重され、安心して安全に過ごせる居場所を児童クラブで提供する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
					成果指標名(1)		入会希望児童の入会率								
					算定式・指標の説明等		入会児童数÷入会児童申請数								
					成果指標名(2)										
					算定式・指標の説明等										
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	人	3,103	3,275	3,178	3,414	3,207	3,432	93.9					
	活動指標(2)	2	人	125	130	119	140	110	144	78.6					
	成果指標(1)	3	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	161,900	189,704	179,457	253,263	234,286	263,472	24年度予算執行率(%)		92.5			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	132,078	155,508	147,805	219,628	205,545	232,058						
	職員数	常勤職員数	8	人	80.46	76.96	78.08	74.06	75.40	72.56					
		再任用職員数	9	人	10.00	10.00	10.00	0.00	2.32	2.31					
		非常勤職員数	10	人				10.00	8.00	8.00					
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	717,703	684,944	694,912	644,322	655,980	631,272					
		(内)再任用職員分	12	千円	29,500	30,800	30,800	0	9,118	9,078					
		(内)非常勤職員分	13	千円				27,500	22,000	22,000					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	909,103	905,448	905,169	925,085	921,384	925,822						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	292,976	276,473	284,823	270,968	287,304	269,762						
	財源	受益者負担分	16	千円	99,005	99,953	94,422	99,354	95,003	101,775					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	6,699	6,725	7,094	7,056	9,679	6,241					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	105,704	106,678	101,516	106,410	104,682	108,016						
差引:一般財源(14-20)	21	千円	803,399	798,770	803,653	818,675	816,702	817,806							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	10.9	11.0	10.4	10.7	10.3	11.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 271

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ委託	10	所	201,871
		民間学童クラブ運営費助成	2	所	14,519
		おやつ代助成	741	人	13,820
		その他(事務費等)			4,076
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	学童クラブへの入会希望者は、年々増加しており、平成24年度当初には44名の待機児童が発生しました。このため、阿佐谷南学童クラブの杉七小学校内への移転や、高井戸第二小学校改築に合わせた高二学童クラブの新設整備に取組みました。また、学童クラブ運営業務を新たに3所開始し、民間学童クラブの運営支援にも、引き続き取組みました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの対象となる児童の人口は、近年横ばい傾向で推移しているにも関わらず、学童クラブ入会希望者数及び入会者数は増加傾向にあります。このため、第二学童クラブの設置、施設改修による定員増及び学童クラブ登録制を実施しました。入会希望者の多い一部の学童クラブは、施設の規模ぎりぎりの受入状態が続いており、既存の施設を利用した学童クラブの実施が困難になっています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校から離れた場所にある学童クラブについては学校内へ移転してほしいとの声や、利用時間の延長など、より安全・安心を求める声が多くなっています。
	今後の予測	近年の保育需要の急増を受け、就学前の教育・保育から学齢期の放課後対策までの切れ目のないサービスの提供が求められています。女性の社会進出による共働き家庭の増加や就労形態の多様化等を背景に、学童クラブの需要は今後も増加していくものと予想されます。また、行き帰りの安全面等の観点から、学校内への設置を求める声も増えると予想されます。
評価と課題	平成25年度当初の学童クラブ待機児童数は70名となり、需要対策が重要な課題となっています。そのため、昨年度に引き続き、緊急対応が必要な学童クラブで児童館機能を活用した「待機児童ランドセル来館」を実施しつつ、総体的な定員枠の見直しを検討します。また、学童クラブの整備にあたっては学校内への設置を基本としながら、中長期的な視点での児童館・学童クラブのあり方を検討・具体化していく必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input checked="" type="radio"/> 対象の見直し	
	当面の対策として、需要増が顕著な地域を中心に、施設全体を有効活用することによる定員増を図るとともに、今後の学童クラブの整備にあたっては学校内への設置を基本としつつ、中長期的な視点に立った児童館・学童クラブのあり方を検討・具体化し、(仮称)施設再編・整備計画への反映を図っていきます。また、学童クラブ利用料についても、コストに見合った適切な負担となるよう、見直しを図っていきます。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 272

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		児童青少年センター事業	498	回	3,980
		児童館中・高校生事業	461	回	1,523
		児童館事業	11,715	回	19,790
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組みがあれば記入)

○全児童館での館内外の活動を始め、高齢者や障害者との交流事業など多彩な活動を、利用者、ボランティア、関係団体等と協働で展開し、地域の居場所として遊びを通じた成長を支援しました。
○地域児童館7館に中・高校生委員会を設置し、中・高校生委員会合宿、えんにちコーナー出店、ダンス講習会、クッキングを実施し、地域のお祭りに協力しています。
○児童青少年センターでは自主企画実現システムによる事業の実施、中高生運営委員会によるアクティブフェスタ等の各種事業の運営を支援しています。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館は昭和40年代から設置され、現在では児童青少年センターを含め計42館設置されています。中でも児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として設置され、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。なお、児童青少年センターの企画は開設当初は職員企画でしたが、平成17年度から「自主企画実現システム」により中高生自らの企画の事業を増やし、ニーズに沿った事業展開を行っています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	児童館は小学生の安全な放課後の居場所としての機能以外にも、乳幼児や中・高校生世代を育成支援の機能も提供しています。また、児童青少年センターは、数少ない中高生向けの児童館として、中・高校生の身近な相談場所・居場所としての機能を提供しており、今後もこれらの機能の充実が求められています。
	今後の予測	児童の貧困、虐待の増加、安全を脅かす事件の多発、家庭や地域の養育力の低下等、子どもを取り巻く環境は今後も複雑化していくことが予想されます。こうした時代の変化を捉えた子育て支援機能の充実や中高生にとって身近な相談場所・居場所の提供をしていくか検討していく必要があります。
評価と課題	児童館事業等により心身共に健やかな育成を支援し、地域子育て支援の拠点として区民等の参画を進め、子どもと子育てを支える地域づくりを醸成しました。今後施設の再編整備を進める中で、0～18歳までをひと括りとして捉えてきた考えから脱却して児童館の機能を発展継承した事業の再構築を図ることが大きな課題となっています。また、児童館を利用する小学生の多くが近隣小学校生徒であることや中高生の利用が少ない状況を踏まえ、中高生生の身近な相談場所・居場所づくりのための取り組みも課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
<p>全ての児童への育成支援を実現していくため、的確な個別支援が可能となるよう、他機関との連携を強化するとともに、児童健全育成事業の実施方法等について、これまで児童館の果たしてきた役割、機能を発展・継承しながら再構築していきます。また、児童青少年センターの事業については自主企画実現システムの充実とプランナー企画(利用者や職員の協働事業)の導入によって事業のバランスを取っていきます。更に、自主企画実現システムを地域等へつなげて行くため、センターを卒業したOB・OGの活用や、地域との協働を図るなど、中高生運営委員会の改革を進めます。また、中・高校生の新たな居場所づくりについては、児童館等施設における中・高校生の利用実態等を調査・分析し、25年5月に設置した「中・高校生の新たな居場所づくり懇談会」の意見等を踏まえて、今後の具体化に向け、(仮称)施設再編・整備計画への反映を図ります。</p>						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 273

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうキッズ事業	41	館	9,683
		地域子育てネットワーク事業	41	館	1,424
		児童館ボランティア運営	1,279	人	52
		母親クラブ活動費助成	13	団体	600
		その他()			0
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>○虐待防止子育て相談事業「コーチング講座」(7館)、「タッチケア講座」(10館)子ども家庭支援センターと連携して実施しました。</p> <p>○全児童館で生後間もない乳児親子向けプログラムを、関係機関や、主任児童委員、民生委員、地域ボランティア等の協力を得て実施し、保護者の不安感や負担感の軽減、子育て力の向上を支援しました。</p> <p>○子育てネットワーク事業として、まつり、もちつき、キャンプ、防災訓練等世代を超えた交流を実施し、10児童館で中・高校生と赤ちゃんのふれあい事業を実施しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○0歳～5歳人口 平成13年 約19,400人、平成18年 約19,800人、平成24年 約22,000人</p> <p>○平成11年子育てネットワーク事業開始。</p> <p>○平成13年10月ゆうキッズ事業開始。</p> <p>○平成23年ゆうキッズ再構築、児童虐待未然防止部内調整。</p> <p>○平成23年9月ゆうキッズスタート全館実施。</p> <p>○平成24年 子ども・子育て関連3法制定、要保護児童対策地域協議会の再編</p>		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○核家族化や地域の人間関係の希薄化の進行に伴い、子育てに不安や負担を抱える保護者が増え、乳児親子が参加できるゆうキッズ事業への問い合わせが多く寄せられています。</p> <p>○地域の伝統行事は児童館が事務局を担うことで、円滑に実施できていると評価されています。</p> <p>○児童虐待未然防止のため、関係機関のこれまで以上の連携・協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を発信、調整、実施していくことが必要となっています。</p>		
	今後の予測	<p>○少子化や核家族化が進む中で、誰もが安心して子どもが生き育てることができるよう、身近なところで利用できる子育て支援サービスの充実が求められています。</p> <p>○保健センター、子ども家庭支援センター、区立保育園、児童館が連携を強化し、児童虐待未然防止の視点に立った機能的な見守りと適切な支援対応を推進していきます。</p>		
	評価と課題	<p>○地域子育てネットワーク事業では、子育て家庭の子育てを通じた人と人のつながり作りを進めています。児童虐待未然防止のため、関係機関等とのこれまで以上の連携・協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を発信、調整、実施していくことが求められています。</p> <p>○平成20年度「ゆうキッズ事業委託方針」を策定し、高井戸児童館での委託を開始しました。その後、子育て支援事業の担い手が増えている中で、民間団体との協働が広がっていない状況にあります。</p>		

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し			
	<p>○現在のゆうキッズ事業等については、事業が持つ機能を継承・発展させるとともに、民間の子育て支援事業者、団体、自主グループ等との協働を進める方向で、地域の子育て支援の今後のあり方を検討し、(仮称)施設再編・整備計画への反映を図っていきます。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 274

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉並区・名寄市子ども交流会	2	回	4,249
		杉並区・東吾妻町子ども交流会	1	回	576
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組みがあれば記入)

○名寄市との交流会(7月名寄市編3泊4日、8月杉並編3泊4日を実施、25名)
○東吾妻町との交流会(8月実施2泊3日、25名)

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	名寄市との交流は杉並区の中学生在が北海道風連町を冬に訪ねる「しばれ体験」として始めました。1993年(平成5年)には風連町の小学生を杉並区に受け入れ、1996年(平成8年)から現在のような相互訪問による交流になりました。東吾妻町子ども交流会は1990年(平成2年)に始まり、杉並・吾妻で相互訪問を行う形で実施していましたが平成12年度から1年毎の交互の訪問方式になり現在に至っています。なお、平成24年度から次世代育成基金活用事業としています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	両交流会とも参加者の反応は良好で「また来年も参加したい」「個人的に家族旅行で行ってみたい」「遠い所に友達ができた」など、前向きな事業評価と事業継続の期待が寄せられています。一方で落選者からは「毎年応募しているのに当たらない」「参加人数を増やしてほしい」等の声が上がっています。
	今後の予測	次世代育成基金の周知により、交流事業の認知度も高まっています。普段経験できないことをプログラムで実施していくため、興味・関心の高まりから、応募者数の増加が予想されます。
	評価と課題	両交流事業ともに、子ども同士が生活を共にすることで、各々の都市の文化や生活を知るという意味で、自治体交流の一端を担うことの一助となっています。交流プログラムについては、参加者にとって、更に意義ある交流事業となるよう検討を進めていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	今後とも、交流自治体との協議を行いながら、プログラム内容の見直しなどを行い、参加する児童が、自主的、主体的に参加できる仕組みを構築するなど、より充実した事業となるよう検討・実施していきます。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		次世代育成基金の運営			款	4	項	2	目	1	事業	50	整理番号	283			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	青少年係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号				
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実			予算事業区分			既定事業			新規事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標			5	施策	24	計画事業	1	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区内の小・中学生、寄附者			内部管理				根拠法令等	(1) 杉並区次世代育成基金条例 (2) 杉並区次世代育成基金連絡会議設置要綱							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○子どもたちの健やかな育成を支援するため、国内外の自然・文化・芸術の体験やスポーツ交流の機会を創出するための取り組みに基金を活用していきます。 ○基金の趣旨を多くの区民に伝え、理解・賛同を得て寄附を募り、地域社会全体で子どもの成長を支える気運を醸成します。			活動指標名(式)			(1) 基金活用事業件数 (2) 基金活用事業参加者募集(定員)数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区内の小・中学生を対象とした国内外の交流都市・自治体との交流事業や自然体験事業の実施に対し、子どもの参加に係る経費の2分の1を基金から充当する。 ○基金の趣旨を広く区民に周知し賛同を得て、寄附を募っていく。			成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画									
指標	活動指標(1)	1	件				4	4	5	100.0							
	活動指標(2)	2	人				137	147	152	107.3							
	成果指標(1)	3	人				137	143	152	104.4							
	成果指標(2)	4	件				100	35	150	35.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円				85,032	79,230	5,857	24年度予算執行率(%)		93.2					
	(内)投資的経費等	6	千円				0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円				10	0	10								
	職員数	常勤職員数	8	人				1.00	1.23	1.00							
		再任用職員数	9	人				0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00	0.00							
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	0	0	0	8,700	10,701	8,700							
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		(内)非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	0	0	0	93,732	89,931	14,557								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円				23,433,000	22,482,750	2,911,400								
	財源	受益者負担分	16	千円				0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円				0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円				0	0	0							
その他の補助金等		19	千円				0	4,628	5,347								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	4,628	5,347								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	0	93,732	85,303	9,210								
受益者負担比率(16÷14)	22	%				0.0	0.0	0.0									

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 283

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		基金の積立	2	回	78,930
		基金周知用リーフレット作成(24年度版)	2,000	部	46
		寄附者向けステッカー作成	3,500	枚	180
		その他(寄附者送付用封筒作成ほか)			74
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>名寄市や小笠原諸島での自然体験、台湾台北市・南相馬市との親善野球大会など、区・教育委員会主催の体験・交流事業への区内小中学生の参加を支援するために基金を活用し、多くの子どもたちが将来の夢や希望を見出すきっかけとなる様々な機会を創出しました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>基金への応援寄付金について、広報紙やホームページを活用した周知及び郵便振替用紙付きの募集チラシを活用した区関係団体の総会等で配布・PRしたことにより、区の他課における寄附募集の取り組みも含め、区民の基金への関心度が高まりました。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>子どもたちにより多くの体験機会を提供するため、世界自然遺産の体験や国際理解を深める取り組みに対するニーズが高くなっています。一方、基金の内容の更なる周知やより簡便な寄附方法を求める声が寄せられています。</p>
	今後の予測	<p>多くの子どもたちに体験の機会を提供するため、事業規模や内容の拡充が必要となっており、基金の活用方法について、効率的・効果的な方法を検討していきます。また、基金の趣旨を広く区民等から賛同が得られるように、分かりやすいパンフレットの作成や寄附しやすい仕組みを構築し、地域社会全体で子どもたちの夢を応援する環境に整えていきます。</p>
評価と課題	<p>基金を活用して各種の体験・交流事業を実施したことにより、参加した子どもたちの社会性・自主性を培うことができました。今後、参加できなかった子どもたちやこの基金を支える区民に対しても取組の内容が一層伝わるように、事業規模・内容の拡充と事業報告とその周知等に努め、より多くの理解と賛同を深めていきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
	II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し		
	<p>当面は、25年度から開始した郵便振替用紙付き寄附募集チラシを活用しながら、多くの区民の賛同・支援の輪が広がるよう全庁を挙げた周知、寄附の募集等に努めています。そうした取組や寄附の状況等を踏まえつつ、多くの子どもたちが、主体的、自主的に参加し、自然・文化・芸術・スポーツなど様々な分野の経験を通じて、将来の夢を抱き活躍できるよう、事業の拡充を検討・実施していきます。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		児童青少年センター・児童館の維持管理②				款	4	項	2	目	2	事業	2	整理番号	289	
担当部課名		保健福祉部児童青少年課				係名	管理係			連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	295			
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実				予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	41	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)					
	対象		児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体				内部管理		施設維持管理		1	根拠法令等 (1) 児童福祉法第35、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とします。				活動指標名(式)		(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 ○施設運営における事務用物品等経費の執行事務				成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		成果指標名(1)														
		算定式・指標の説明等														
		成果指標名(2)														
		算定式・指標の説明等														
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	人	1,296,877	1,400,000	1,375,024	1,400,000	1,397,301	1,400,000	99.8					
	活動指標(2)		2	日	13,114	13,917	13,768	13,917	13,804	13,917	99.2					
	成果指標(1)		3	人	99	105	100	105	101	105	96.2					
	成果指標(2)		4	件	727	650	796	800	785	785	98.1					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	271,802	280,234	261,189	283,601	274,603	283,592	24年度予算執行率(%)		96.8			
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		7	千円	156,216	164,413	150,268	157,262	151,442	164,274						
	職員数	常勤職員数		8	人	26.09	25.35	25.12	24.40	24.15	23.20					
		再任用職員数		9	人	4.20	4.20	4.70	0.00	0.70	0.70					
		非常勤職員数		10	人				4.70	3.60	3.60					
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	232,723	225,615	223,568	212,280	210,105	201,840					
		(内)再任用職員分		12	千円	12,390	12,936	14,476	0	2,751	2,751					
		(内)非常勤職員分		13	千円				12,925	9,900	9,900					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	516,915	518,785	499,233	508,806	497,359	498,083						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	399	371	363	363	356	356						
	財源	受益者負担分		16	千円	4,788	5,770	5,196	4,985	4,685	4,986					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,788	5,770	5,196	4,985	4,685	4,986							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	512,127	513,015	494,037	503,821	492,674	493,097							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.9	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 289

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	53	施設	143,045
		施設修繕費	53	施設	37,758
		光熱水費			75,641
		その他(電話料・手数料・備品購入 ほか)			18,159
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	児童館(児童青少年センターを含む)を安全・快適に利用していただくよう施設・設備の適正な維持管理を図っています。 施設保守管理契約及び備品類の計画的な購入等により、適切な維持管理に努めました。また、施設修繕にあたっては、大規模修繕や学童クラブ改築等の計画と重複しないよう、計画的な修繕を進めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	施設の経年劣化による修繕や学童クラブ需要増への対応により、施設・設備の適正な維持管理に努めました。児童館は昭和40～50年代に建設したものが大多数のため、施設の老朽化が進み区の財政負担が大きくなることが予想されます。今後、区立施設の再編・整備の計画に併せた児童館施設のあり方や整備計画の検討を進め、区民ニーズの変化に対応した子育てサービスを提供していくことが求められます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	II 事業の方向性
			<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		児童館の耐震改修		款	4	項	2	目	3	事業	9	整理番号	293		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号			
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分				投資事業	新規事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	24	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標		施策	計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象	堀ノ内東児童館及び学童クラブの児童、職員、施設利用者			内部管理			根拠法令等	(1) 建築物の耐震改修の促進に関する法律第6条 (2) 杉並区耐震改修促進計画に基づく区立施設の耐震化整備プログラム						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	児童館の耐震改修により、児童館及び学童クラブの児童、職員、施設利用の安全を確保します。			施設維持管理			活動指標名(式)	(1) 耐震改修を必要とする児童館 (2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○耐震改修が必要な児童館について、耐震工事を行う。					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)											
				算定式・指標の説明等											
				成果指標名(2)											
				算定式・指標の説明等											
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	施設			1	1	0	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			2,228	2,227	0	24年度予算執行率(%)		100.0				
	(内)投資的経費等	6	千円			2,228	2,227	0	特記事項 ○対象児童館は都営住宅、区立保育園との合築建物のため、工事主体は東京都となります。 ○耐震工事と併せて建物の保全工事を実施しています。(平成25年度まで)						
	(内)委託費	7	千円			0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	0.10			0.00				
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00			0.00				
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00			0.00				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	0	0	0	870			0				
		(内)再任用職員分	12	千円			0	0			0				
		(内)非常勤職員分	13	千円			0	0			0				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	0	0	0	2,228	3,097			0				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円				0	870,000							
	財源	受益者負担分	16	千円				0			0	0			
国からの補助金等		17	千円				0	0			0				
都からの補助金等		18	千円				0	0	0						
その他の補助金等		19	千円				0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	0	2,228	3,097	0						
受益者負担比率(16÷14)	22	%				0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 293

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		都建設事業負担金	1	施設	2,227
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組みがあれば記入)

都営住宅、区立保育園との合築建物である、堀ノ内東児童館について、工事主体となる東京都と耐震工事に係る協定を締結し、耐震工事に着手しました。工事は平成25年度完了の予定ですが、予算事業としては平成24年度で完了となります。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	防災意識の高まりによる、児童更生施設等の耐震化促進は、重要な課題となっています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成23年3月11日の東日本大震災の影響により、児童更生施設等の耐震化促進を求める要望が増えました。
	今後の予測	平成25年度中工事に堀ノ内東児童館の耐震改修工事は完了します。
評価と課題		堀ノ内東児童館の耐震改修工事によって、児童館の耐震化は完了します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input checked="" type="radio"/> 対象の見直し	
	平成25年度の堀ノ内東児童館の耐震改修工事によって、児童館の耐震化は終了します。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		阿佐谷南学童クラブの整備		款	4	項	2	目	3	事業	25	整理番号	299	
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	305		
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		投資事業		新規事業						
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	23	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		施設管理		内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 児童福祉法第35・45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則			
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		○入会需要の増加に対応するため、杉並第七小学校内空きスペースに移転するための施設を整備します。		(1) 学童クラブ移設 (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		○学童クラブ施設の移設及び移設後の運営主体の民間委託に伴う事務用品、物品などの購入・支払い事務を行う。		成果指標名(1)		阿佐谷南学童クラブ受入枠の増			
		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)		1	人		1	1	1	1			100.0		
	活動指標(2)		2											
	成果指標(1)		3	人		40	0	40	40			100.0		
	成果指標(2)		4											
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	0	24,000	21,400	38,250	36,170			24年度予算執行率(%) 94.6		
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	38,250	36,170			特記事項		
	(内)委託費		7	千円	0	24,000	21,400	36,000	34,030					
	職員数	常勤職員数		8	人	0.00	0.08	0.08	0.08	0.10				
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数		10	人				0.00	0.00				
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	0	712	712	696	870	0			
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0			
		(内)非常勤職員分		13	千円				0	0	0	0	0	
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	24,712	22,112	38,946	37,040	0				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円		24,712,000	22,112,000	696,000	870,000					
	財源	受益者負担分		16	千円		0	0						
		国からの補助金等		17	千円		0	0	0					
都からの補助金等		18	千円		0	0	0							
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	32,000	30,000					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	32,000	30,000	0				
差引:一般財源(14-20)		21	千円		0	24,712	22,112	6,946	7,040	0				
受益者負担比率(16÷14)		22	%			0.0	0.0	0.0	0.0					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 299

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		阿佐谷南学童クラブの移転整備	1	所	36,170
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組みがあれば記入)
阿佐谷南学童クラブを新たに杉七学童クラブとして杉並第七小学校内に移転し、40人の定員増を図りました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は、この10年間に急増し、学童クラブの対象となる児童数そのものはほぼ横ばい状況にある中、学童クラブの登録児童数は約1.5倍(2,000人→3,000人)になっています。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	児童を脅かす事件の多発などを背景に、児童の安全・安心な放課後の居場所としての学童クラブづくりが求められています。		
	今後の予測	母親の就労ニーズの高まりや、未就学児の保育需要に見られるように、学童クラブ需要は今後も増加するものと予想されますが、杉七学童クラブ(旧阿佐谷南学童クラブ)については、40人の定員増を図ったことにより、ある程度の需要予測には対応できると見込んでおります。		
評価と課題		学校内に学童クラブを移設することで、より安心して利用できる学童クラブにするとともに、今後の需要に対応した定員増を図ることができました。		

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現 状 維 持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
平成24年9月に開設し、事業終了となります。						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		(仮称)宮前第二学童クラブの整備 款 4 項 2 目 3 事業 26						整理番号	300								
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	管理係		連絡先電話番号	4402								
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実			予算事業区分		投資事業	新規事業									
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		5	施策	24	計画事業	2	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		施設管理			内部管理		根拠法令等		(1) 児童福祉法第35・45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		〇入会需要の増加に対応するため、高井戸第二小学校の校舎改築工事に併せ、校舎内に施設を整備します。									活動指標名(式)			(1) 学童クラブ整備 (2)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		〇(仮称)宮前第二学童クラブのスペースを高井戸第二小学校校舎に確保し、改築工事を進める。									成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		
		成果指標名(1)									算定式・指標の説明等						
		成果指標名(2)									算定式・指標の説明等						
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画									
指標	活動指標(1)		1	施設			0.2	0.2	0.8	100.0							
	活動指標(2)		2														
	成果指標(1)		3														
	成果指標(2)		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円			11,460	10,928	37,979	24年度予算執行率(%)		95.4					
	(内)投資的経費等		6	千円			11,460	10,928	37,979	特記事項							
	(内)委託費		7	千円			11,460	10,928	34,979								
	職員数	常勤職員数		8	人			0.10	0.10	0.20							
		再任用職員数		9	人			0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数		10	人			0.00	0.00	0.00							
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	0	0	0	870	870	1,740						
		(内)再任用職員分		12	千円				0	0	0						
		(内)非常勤職員分		13	千円				0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	0	0	12,330	11,798	39,719							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円				4,350,000	4,350,000	2,175,000							
	財源	受益者負担分		16	千円				0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円				0	0	0						
都からの補助金等		18	千円				0	0	0								
その他の補助金等		19	千円				10,000	6,000	30,000								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	10,000	6,000	30,000								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	0	2,330	5,798	9,719								
受益者負担比率(16÷14)		22	%				0.0	0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 300

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(仮称)宮前第二学童クラブの整備			
	その他()				0
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	高井戸第二小学校の校舎改築に合わせ、校舎内への学童クラブの整備を進めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は、この10年間に急増し、学童クラブの対象となる児童数そのものは、ほぼ横ばい状況にある中、学童クラブの登録児童数は約1.6倍(2,000人→3,300人)となっています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年の学童クラブ需要増や、児童を脅かす事件の多発などを背景に、安全・安心な放課後の居場所としての学童クラブづくりが求められており、宮前学童クラブにおいても、高井戸第二小学校の改築に合わせ、第二学童クラブの新設が求められていました。
	今後の予測	母親の就労ニーズの高まりや、昨今の未就学児の保育需要に見られるように、学童クラブの需要は今後も増加するものと予測しており、(仮称)宮前第二学童クラブについては、宮前学童クラブと合わせて、140人程度の需要があると見込んでいます。
	評価と課題	高井戸第二小学校の改築に合わせ、学校内に学童クラブを新設し(平成26年4月開設予定)、高井戸第二小学校区域における学童クラブの定員増を図ることで、今後の需要に対応していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
平成26年4月開所に向け、引き続き整備を行っていきます。						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		学童クラブの整備			款	4	項	2	目	3	事業	27	整理番号	301		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号			
上位施策No・施策名		24 子ども・青少年の育成支援の充実			予算事業区分			投資事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	24	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		施設管理			内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 杉並区財産価格審議会条例 (2) 杉並区公有財産管理規則				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○学童クラブ敷地を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保します。			活動指標名(式)		(1) 用地取得学童クラブ数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○賃貸借契約を締結している桃五学童クラブの敷地を、区有地として取得する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
		成果指標名(1)														
		算定式・指標の説明等														
		成果指標名(2)														
		算定式・指標の説明等														
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	施設			1	1	0	100.0						
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3													
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円			230,004	230,003	0	24年度予算執行率(%)		100.0				
	(内)投資的経費等		6	千円			230,004	230,003	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円			0	0	0							
	職員数	常勤職員数		8	人			0.00	0.10	0.00						
		再任用職員数		9	人			0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人			0.00	0.00	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	0	0	0	870	0						
		(内)再任用職員分		12	千円			0	0	0						
		(内)非常勤職員分		13	千円			0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	0	230,004	230,873	0							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円			0	870,000	0							
	財源	受益者負担分		16	千円			0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円			0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円			0	0	0						
その他の補助金等		19	千円			0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	230,004	230,873	0								
受益者負担比率(16÷14)		22	%			0.0	0.0									

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 301

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		用地取得	1	所	230,003
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組みがあれば記入)

借用地として賃貸借契約を締結していた桃五学童クラブの民有地を、区有地として取得しました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は、この10年間に急増し、学童クラブの対象となる児童数そのものは、ほぼ横ばい状況にある中、学童クラブの登録児童数は約1.6倍(2,000人→3,300人)となっています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年の学童クラブ需要増や、児童を脅かす事件の多発などを背景に、安全・安心な放課後の居場所としての学童クラブづくりが求められています。
	今後の予測	母親の就労ニーズの高まりや、未就学児の保育需要に見られるように、学童クラブ需要は今後も増加するものと予想されます。
評価と課題		桃5学童クラブの敷地を取得することができました。今後は学童クラブ需要増加に伴う対応を、区立施設の再編・整備の計画に併せ検討していく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
桃五学童クラブ借地の取得が完了し、事業は終了しました。						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 323

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーン(ポスター及びプログラム配布・イベント実施)				372
		飲酒・薬物乱用防止対策(普及啓発用品・教材・講演会の開催)	各1	回	100	
		喫煙防止対策(ポスター及び標語募集チラシ・カレンダー作成)	13,000	枚	236	
		その他()			0	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	未成年者への飲酒・喫煙対策については、対面販売で年齢を確認するなど業界の自主規制がこの数年大きく進んできています。また、未成年者のタバコの購入を抑制するため、平成20年度から成人識別カードが導入されました。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成23年度に実施した区内中学1、3年生を対象とした飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査の結果から、喫煙経験率は平成21年度に比較するとかなり減少しています。また全国と比較しても低くなっています。25年度も飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査を実施していきます。また、近年薬物が容易に手に入る状況にあるため、学校・地域保健等と連携を図りながら普及啓発を進める必要があります。
	今後の予測	杉並区がん対策推進計画が策定され、たばこ対策の中で、未成年の喫煙防止対策の推進が重要になっています。今後も、教育機関と連携を図り、未成年が喫煙しない環境づくりや地域住民と協働し対策を勧める必要があります。
評価と課題	未成年者の喫煙防止については、タスポカードの導入等、規制が進み効果が得られています。今後も未成年者の喫煙がなくなるよう学校での喫煙防止教育の充実や普及啓発に取りくみます。飲酒・薬物については、学校・地域保健課・児童青少年課等と連携を図りながら、積極的に普及啓発を進める必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	平成25年度は、区内中学1、3年生全員を対象とした飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査を行います。調査を通して、学校と連携を図り、結果について問題を共有し、今後の事業に役立てます。					